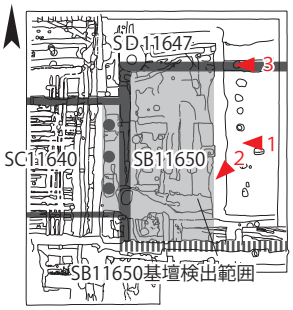
Ⅲ　図　　版

１：調査前　北西から　　２：遺構検出状況　背後の林は大極殿跡　北西から

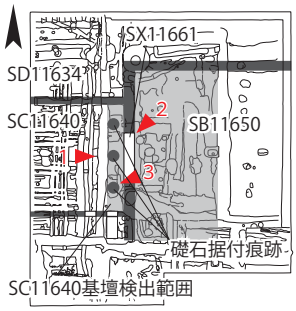
PL. 2　　調査区全景　飛鳥藤原第 210 次

遺構検出状況　背後右に畝傍山　奥は金剛山　北東から



１：大極殿後殿 SB11650 基壇　西から　　２：大極殿後殿 SB11650 基壇の版築状の積み土　北東から

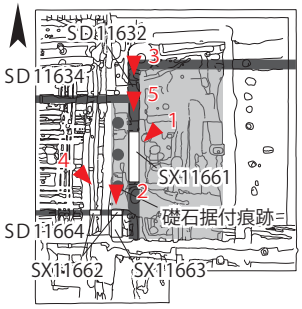
３：大極殿後殿 SB11650 基壇土と基壇造成時の東西溝 SD11647　東から



１：大極殿後方西回廊 SC11640　西から

２：大極殿後方西回廊 SC11640 礎石据付痕跡と基壇外装痕跡 SX11661　手前の凝灰岩片の推積が SX11661　北東から

３：大極殿後方西回廊 SC111640 南側柱礎石据付痕跡　北東から



1：大極殿後殿と大極殿後方西回廊を画する基壇外装痕跡 SX11661　北東から

2：大極殿後方西回廊基壇外装痕跡 SX11662・11663
手前が SX11662、奥に SX11663 が南北に広がる　北から

3：南北溝 SD11632　写真奥、SD11632 の上位に基壇外装痕跡 SX11661 がある　北から

4：大極殿後方西回廊基壇外装痕跡 SX11662・11663 と下層の東西溝 SD11664
土層断面に黄橙色砂質土が推積する SD11664 がみえる　北西から

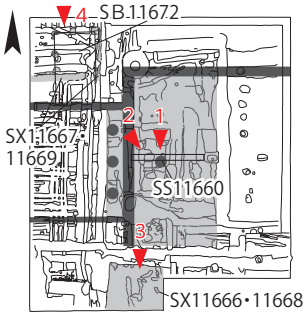
5：南北溝 SD11632 断面　北から

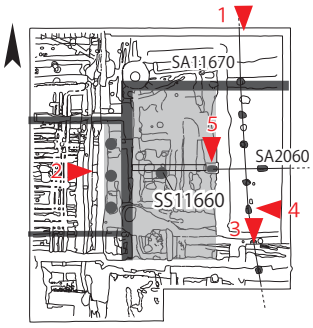
1：集石遺構 SS11660　北から

2：集石遺構 SS11660 と大極殿後殿 SB11650 基壇断面　北西から

3：礫敷 SX11666 の上面に堆積する瓦溜 SX11668　北から

4：礫敷 SX11667 の上面に堆積する帯状の瓦敷 SX11669 と
藤原宮期以前の掘立柱建物 SB11672　北から





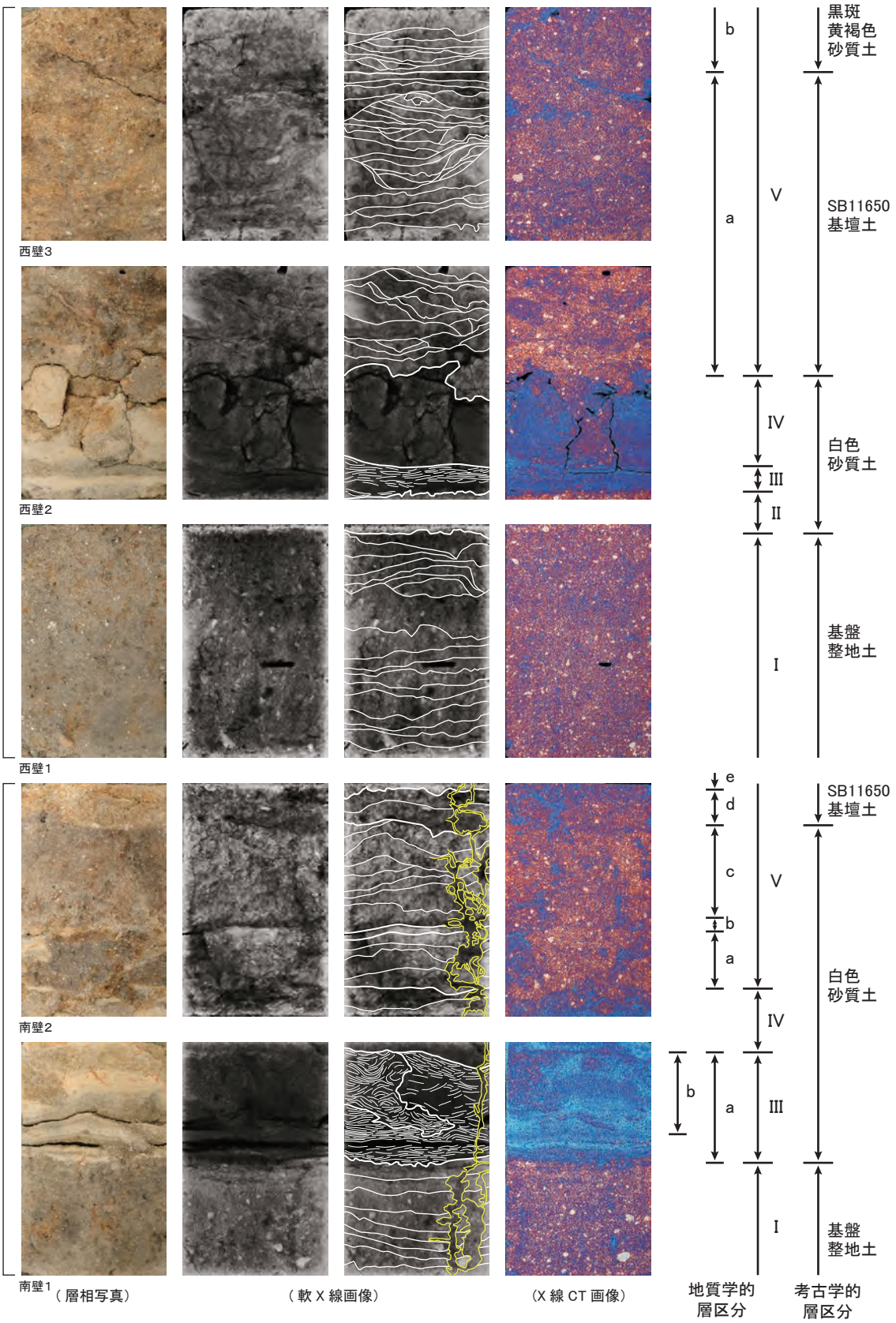
1 ：南北掘立柱列 SA11670　北から

2 ：東西掘立柱塀 SA2060 と大極殿後殿 SB11650 基壇西から

3 ：南北掘立柱列 SA11670 柱穴と上位の後殿 SB11650 基壇土　北から

4 ：南北掘立柱列 SA11670 柱穴 穴底に平瓦　西から

5 ：東西掘立柱塀 SA2060 西端の柱穴と上位の大極殿後殿 SB11650 基壇土　北から



調査区南東部トレンチ南壁（図６：Ｃ断面）と西壁（図７：Ｊ断面）の堆積構造解析

1：出土瓦（集合）　2：粘土紐技法による丸瓦　3：粘土紐技法による平瓦　4：瓦製円盤

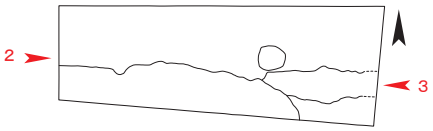
PL.10　出土遺物（土器・石材）　飛鳥藤原第 210 次

１：土器　弥生～古代　　２：凝灰岩・榛原石

1 ：第 211-1 次調査区全景　南西から

2 ：第 211-6 次調査区全景　西から

3 ：第 211-6 次調査・東西溝 SD410　東から

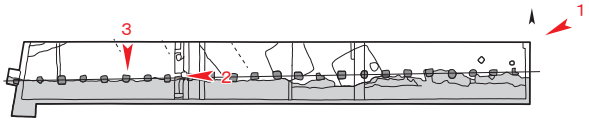


PL.12　藤原宮第 20 次調査出土瓦

1：調査区全景と東西塀 SA311　北東から

2：東西塀 SA311 柱穴列　東から

3：東西塀 SA311 柱穴　北から



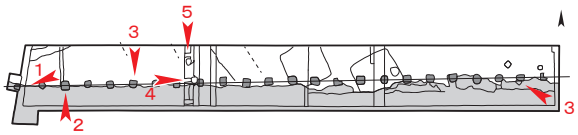
1：東西塀 SA311（中央）と東西溝 SD4610（左奥）　北東から

2：東西塀 SA311 柱穴断面　南から

3：東西塀 SA311 と掘立柱塀 SB4620 の重複　南東から

4：東西塀 SA311 柱穴断面　西から

5：土坑 SK4622 断面　北から



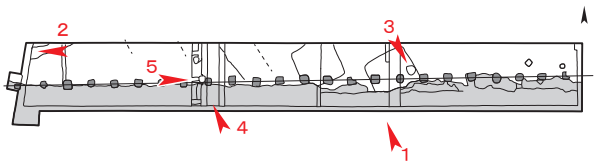
1：竪穴建物 SI4612（右）・4613（左）　南東から

2：斜行溝 SD4611 断面　東から

3：土坑 SK4618 断面　北から

4：土坑 SK4616・4617　南東から

5：土坑 SK4617　西から



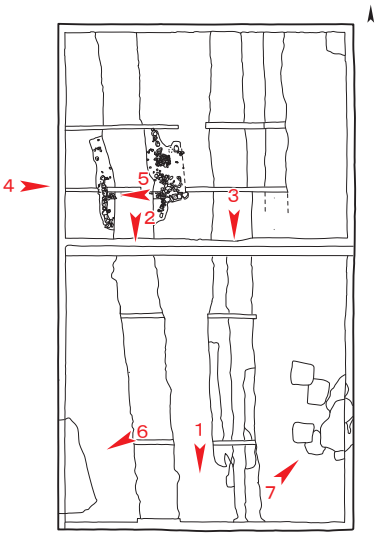
1：東西溝 SD4610 出土土器　2：瓦磚類　3：文字瓦（等倍）　4：冶金関連遺物　5：木葉形尖頭器

1 ：遺構検出後　背後は石神遺跡　南東から　　2 ：遺構検出後　南から

1：南北溝 SD4630A・B、SD4635A・B と調査区南壁の断面　北から

2：南北溝 SD4635A・B の断面　北から

3：南北溝 SD4630A・B の断面　北から



4：石組遺構 SX4640 全景　西から

5：石組遺構 SX4640 西辺部の断割　東から

6：調査区西南部にかかる竪穴建物 SI4636
北東から

7：調査区東南部の土坑 SK4631 と SK4632
南西から

1：南北溝 SD4630A 出土土器　2：南北溝 SD4635A 出土杯Ｈ　3：土坑 SK4638 出土高杯

4：土坑 SK4631 出土甕蓋　5：竪穴建物 SI4636 出土土師器　6：石器

１：川原寺瓦窯 SY595　北東から　　２：熔着瓦２点　SY595 埋没後の整地層出土

PL.22　出土軒瓦等　飛鳥藤原第 119-5 次（2003 年）

１：川原寺 601 型式Ｃ種・５段階　SY595 周辺出土　　２：同・丸瓦部先端付近の刻み目

３：川原寺 608 型式　　４：川原寺 652 型式

５：同・瓦当側面における凸面の面取りとケズリ　右端が瓦当部

６：鴟尾・鰭部　右下の面に粘土紐の積み上げ単位で剥離した痕跡が残る

７：川原寺 601 型式Ｃ種・３段階　SY595 周辺出土

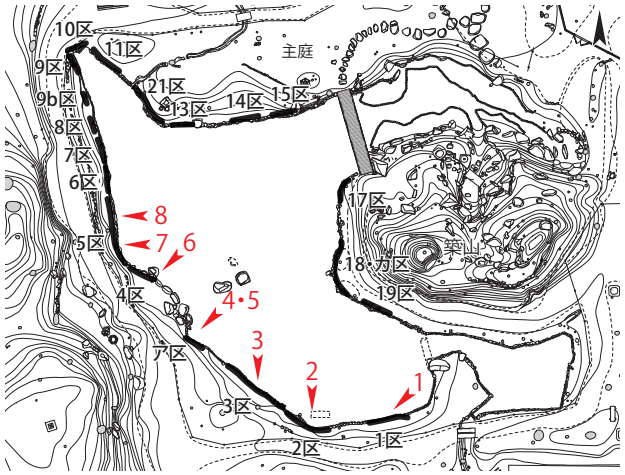
１：調査区全景　南西から　　２：瓦類

１：調査区全景　北から　　２：湿地および流路（SD20381）・自然流路（NR20383）出土遺物

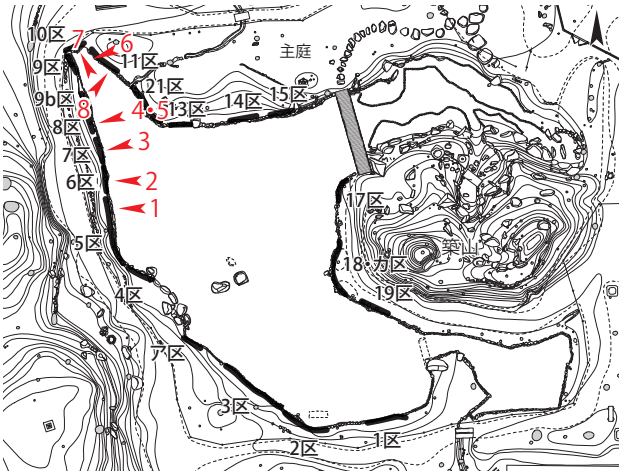
１：調査区全景　南東から　　２：東西溝 SD4315　手前の杭列は現代の溜池の護岸にともなう　東から

１・２・３・ア・４・５区完掘状況　平城第 644 次

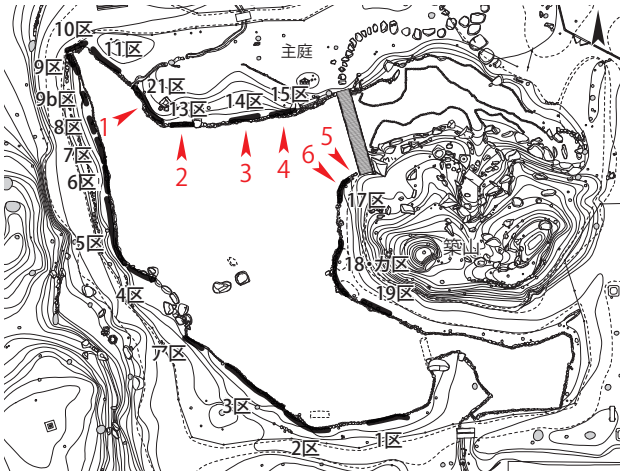
１：１区完掘　北東から
２：２区完掘　北から
３：３区完掘　北から
４：ア区完掘①　北東から
５：ア区完掘②　北東から
６：４区完掘　北東から
７：５区完掘①　東から
８：５区完掘②　東から



1 ： 5 区完掘③　東から
2 ： 6 区完掘　東から
3 ： 7 区完掘　東から
4 ： 8 区完掘①　東から
5 ： 8 区完掘②　東から
6 ： 9 区完掘　東から
7 ： 10 区完掘　南東から
8 ： 11 区完掘　南西から



13・14・15・17・21 区完掘状況　平城第 644 次

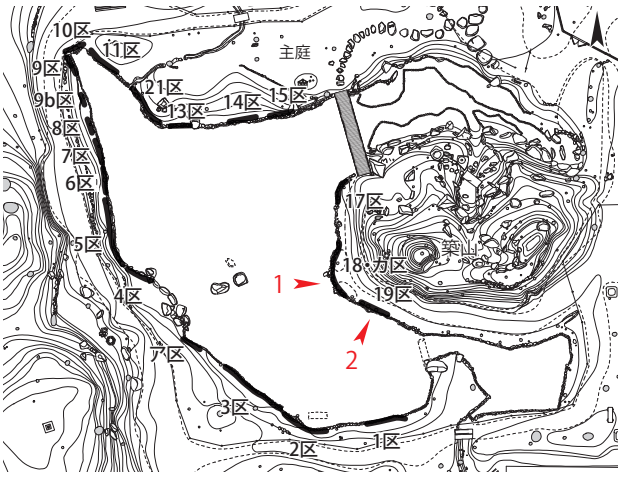


1：21 区完掘　南西から　　2：13 区完掘　南から

3：14 区完掘　南から　　4：15 区完掘　南から

5：17 区完掘　北西から　　6：17 区凝灰岩切石　北西から

1：18 区・カ完掘　西から　　2：19 区完掘　南西から



3：出土瓦

1：北区全景　西から　　2：南区全景　北東から

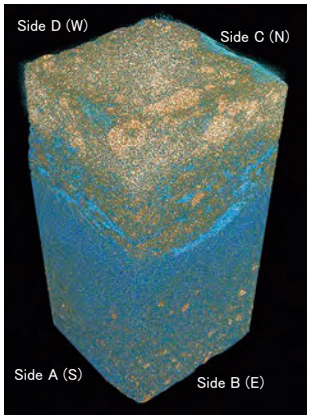
1：軒瓦　　2：土器　平安～近世

1：調査区全景　北東から　　2：瓦類　　3：冶金関連遺物および鉄釘

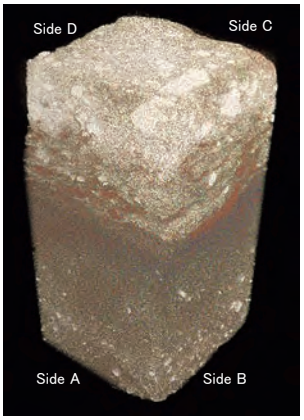
１：調査区全景　北東から　　２：一条条間路北側溝 SD9075　北西から

PL.34　東西溝状落込 SX11720 と出土遺物　平城第 647 次

1：東西溝状落込 SX11720　北から
2：埴輪



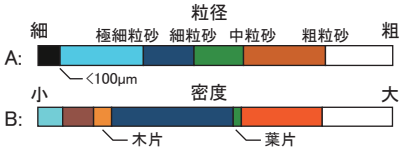
1　粒子径解析（凡例 A）に基づく堆積構造の立体色調表示

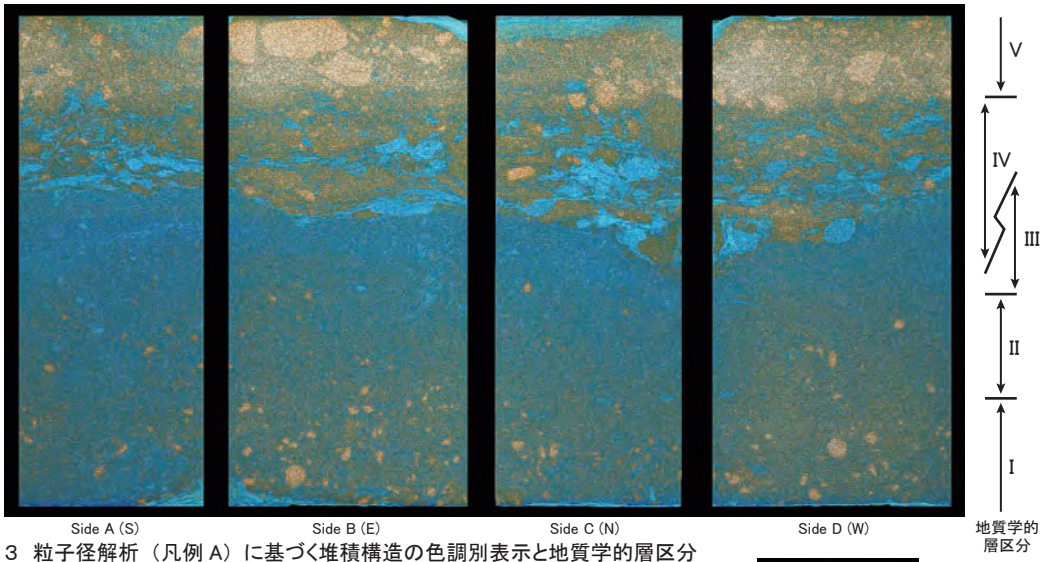


2　物質密度解析（凡例 B）に基づく堆積構造の立体色調表示

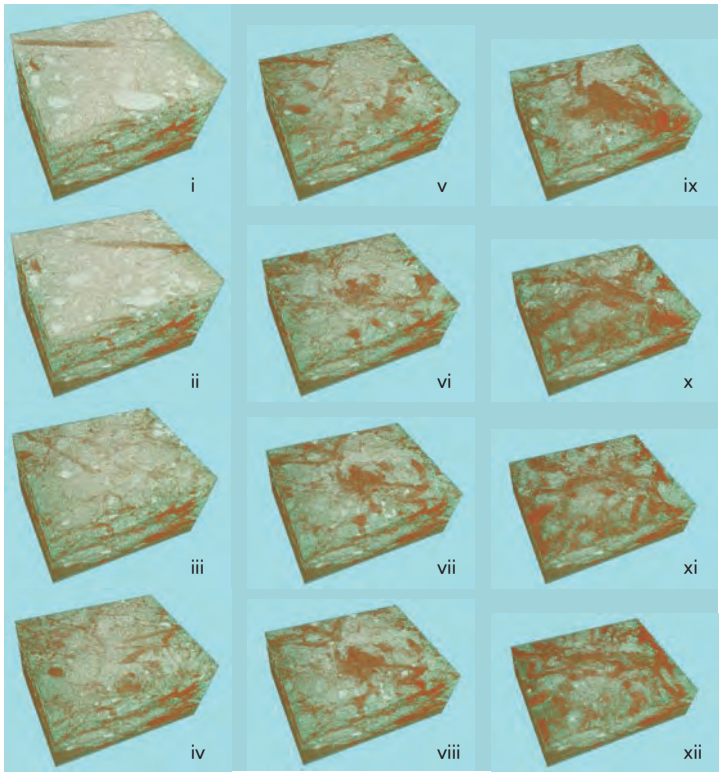
※高出力X線CT（HiXCT-1M-SP）で撮像した断層画像について、Wentworth（1922）の粒度階区分に従い、粒子径関心領域（ROI）の閾値を、Python3.11を用いて算出し任意の色調で３次元表示したものを図１、同断層図について、とくに葉片・木片に着目し、物質密度（X線透過度）に従った関心領域を抽出し、任意の色調で３次元表示したものを２に示す。

X 線 CT 画像の色別凡例





3　粒子径解析（凡例 A）に基づく堆積構造の色調別表示と地質学的層区分



4　物質密度解析（凡例 B）に基づく敷葉・敷粗朶構造の色調別表示

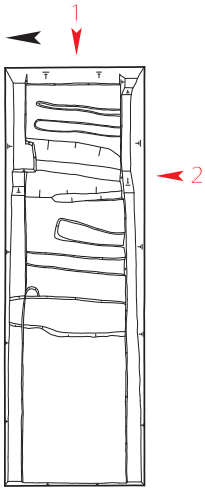
5　6の切削面表示位置

6　物質密度解析（凡例 B）に基づく混礫砂泥層中の杭

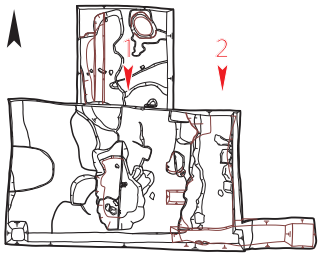
高出力 X 線 CT（HiXCT-1M-SP）を用いた構造土（遺構）の非破壊解析

調査区中央部の堆積構造解析

調査区全景と南北溝 SD1160　平城第 624 次



1：調査区全景　東から　　2：南北溝 SD1160　南から



1：調査区全景　北から　　2：南北大溝 SD1180　北から　　3：瓦磚類

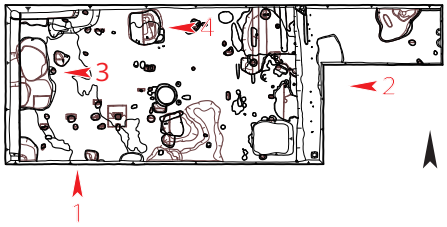
調査区全景　北東から

1：調査区西部遺構検出状況　南から

2：調査区中央部全景　東から

3：井戸 SE1210・1211・1212 検出状況　東から

4：土坑 SK1220　東から



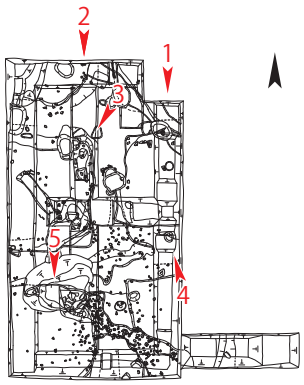
5：SK1193 出土土師器杯　図 120－3・4　　6：SK1220 出土陶硯　　7：SE1211 出土不明土製品

１：瓦類　　２：東西掘立柱塀 SA1200・1201 等出土の礎板・柱根

３：井戸 SE1210 出土の木器

調査区全景　北から

PL.42　　礎石抜取穴と壺地業　平城第 655 次



１：礎石抜取穴 A・C と壺地業 A・C　北から　　２：礎石抜取穴 B・D と壺地業 B・D　北から

３：礎石抜取穴 D と壺地業 D　北東から　　４：礎石抜取穴 C と壺地業 C　南から

５：礎石抜取穴 B と壺地業 B　北から

1

2

3

4

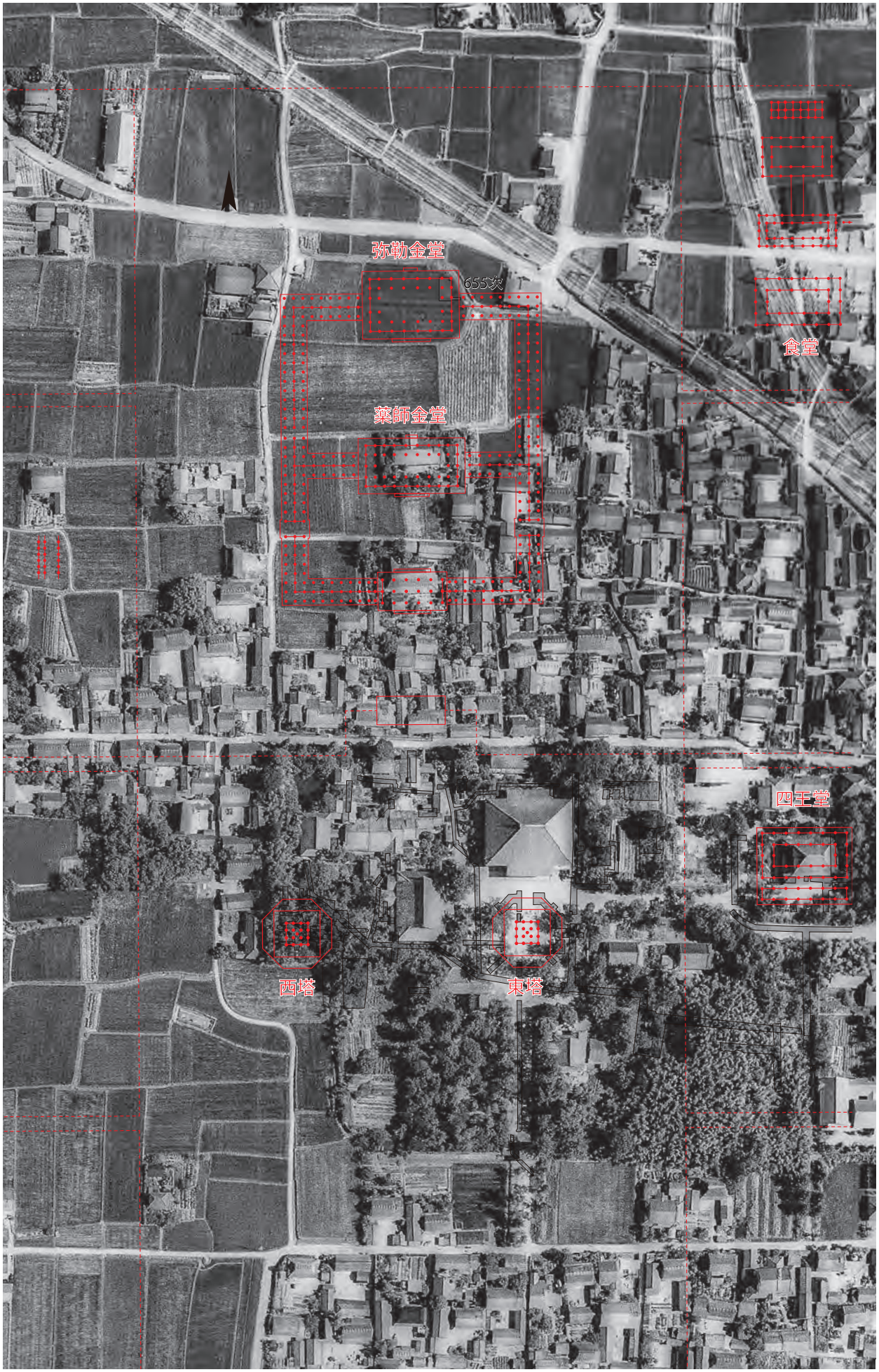
１：瓦磚類

２：軒丸瓦 6133R

３：軒丸瓦 6133R

４：軒丸瓦 6139A

西大寺伽藍復元図と航空写真　平城第 655 次



西大寺伽藍復元図と航空写真（1955 年 8 月 4 日撮影）の重ね合わせ

Excavation Survey Report of Nara National Research Institute for Cultural Properties 2023

CONTENTS

Ⅰ Excavations in and around the Asuka and Fujiwara Palace Site ····· 1

1 Excavations at the Fujiwara Palace Site ····· 3

Excavation of the Fujiwara Palace Imperial Audience Hall Compound (Excavation No.210) ··· 5

Excavation at the Southern Section of the Eastern Government Office Sector (Excavation No.211-1) ····· 25

A Study of Roof Tiles Excavated from the Northern Part of the Fujiwara Palace Imperial Audience Hall Compound (Fujiwara Palace Site Excavation No.20) ····· 27

2 Excavation in and around the Asuka Area ····· 39

Excavations to the East of the Ishigami Site (Excavation Nos. 209 and 212) ····· 41

Excavation at Okuyama Temple (Excavation No.211-6) ····· 61

Pottery Assemblages from Ditch SD1347B at the Ishigami Site (Ishigami Site Excavation No.14) ····· 63

A Reexamination of Roof Tile made at Kawaharadera Temple Kiln (Excavation No.119-5) ····· 79

Ⅱ Excavations in and around the Nara Palace Site ····· 85

1 Excavations at the Nara Palace Site ····· 87

Excavation of the North-West Area of the Palace (Excavation Nos.646 and 652) ····· 89

Excavation of the Northern Outer Wall of the Palace(Excavation No.648) ····· 95

2 Excavation at the Nara Capital Site and Neighboring Temple ····· 97

Excavations at Hokkeji Temple and Its Garden (Excavation Nos.644, 645 and 651) ····· 99

Excavation in the Tenth Block of the Second Ward on the First Avenue and First Row Avenue inside the Left Capital of the Nara Capital (Excavation No.647) ····· 109

Excavation of the Shō tō in Hall of Saidaiji Temple Premises (Excavation Nos.624, 627, and 654) ····· 115

Excavation of the Miroku Main Hall of Saidaiji Temple (Excavation No.655) ····· 129

Ⅲ Plates ····· 1～44

報告書抄録

ふりがな	ならぶんかざいけんきゅうじょはっくつちょうさほうこく
書名	奈良文化財研究所発掘調査報告
副書名	
巻次	2023
シリーズ名	奈良文化財研究所発掘調査報告
シリーズ番号	2023
編著者名	独立行政法人国立文化財機構　奈良文化財研究所　都城発掘調査部
編集機関	独立行政法人国立文化財機構　奈良文化財研究所
所在地	〒630-8577　奈良県奈良市二条町２－９－１　TEL：0742-30-6733（研究支援推進部総務課）
発行年月日	2023年12月22日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積（㎡）	調査原因
特別史跡藤原宮跡（とくべつしせきふじわらきゅうせき）	奈良県（ならけん）橿原市（かしはらし）高殿町（たかどのちょう）・醍醐町（だいごちょう）	292052	14A-0026-A	34° 30′ 8″	135° 48′ 25″	20220509～20220826	1,179	学術調査（飛鳥藤原第210次）
				34° 29′ 58″	135° 48′ 43″	20220415～20220420	16	住宅建設（飛鳥藤原第211-1次）
石神遺跡（いしがみいせき）東方（とうほう）	奈良県（ならけん）高市郡（たかいちぐん）明日香村（あすかむら）飛鳥（あすか）	294021	14D-0028（石神遺跡）	34° 28′ 50″	135° 49′ 10″	20220106～20220317	301	学術調査（飛鳥藤原第209次）
				34° 28′ 50″	135° 49′ 13″	20221212～20230317	336	学術調査（飛鳥藤原第212次）
奥山廃寺（おくやまはいじ）（奥山久米寺跡（おくやまくめでらあと））	奈良県（ならけん）高市郡（たかいちぐん）明日香村（あすかむら）奥山（おくやま）	294021	14D-0020	34° 29′ 6″	135° 49′ 17″	20221003～20221012	26	住宅建設（飛鳥藤原第211-6次）
特別史跡平城宮跡（とくべつしせきへいじょうきゅうせき）	奈良県（ならけん）奈良市（ならし）佐紀町（さきちょう）	292010	05A-0110-A	34° 41′ 46″	135° 47′ 34″	20220725～20220729	30	住宅建設（平城第648次）
平城宮跡（へいじょうきゅうせき）	奈良県（ならけん）奈良市（ならし）二条町（にじょうちょう）	292010	05A-0110	34° 41′ 39″	135° 47′ 22″	20220214～20220304	90	住宅建設（平城第646次）
				34° 41′ 38″	135° 47′ 20″	20221024～20221107	18	住宅建設（平城第652次）
名勝（めいしょう）法華寺庭園（ほっけじていえん）・史跡法華寺（しせきほっけじ）旧境内（きゅうけいだい）（法華寺境内（ほっけじけいだい））	奈良県（ならけん）奈良市（ならし）法華寺町（ほっけじちょう）	292010	05A-0112-A・05A-0112-B	34° 41′ 32″	135° 48′ 13″	20220124～20220214	16.75	名勝保存整備（平城第644次）
				34° 41′ 32″（北区）34° 41′ 31″（南区）	135° 48′ 14″（北区）135° 48′ 15″（南区）	20220117～20220209	14.38	防災設備改修（平城第645次）
				34° 41′ 33″	135° 48′ 12″	20221011～20221019	10.4	名勝保存整備（平城第651次）

平城京跡 左京一条 二坊十坪・ 一条条間路	奈良県 奈良市 法華寺町	292010	05C-0094	34° 41′ 36″	135° 48′ 14″	20220404 ～ 20220422	70	住宅建設 （平城第 647 次）
西大寺跡	奈良県 奈良市 西大寺 小坊町	292010	05A-0104	34° 41′ 39″	135° 46′ 51″	20230112 ～ 20230203	146	住宅建設 （平城第 624 次）
				34° 41′ 39″	135° 46′ 49″	20200804 ～ 20200811	21	住宅建設 （平城第 627 次）
				34° 41′ 40″	135° 46′ 50″	20230112 ～ 20230203	146	住宅建設 （平城第 654 次）
				34° 41′ 43″	135° 46′ 44″	20230301 ～ 20230404	47.1	住宅建設 （平城第 655 次）

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
特別史跡 藤原宮跡	宮殿遺跡	白鳳時代 （七世紀末）	大極殿後殿、大極殿後方西回廊、基壇外装痕跡、集石遺構、礫敷、排水溝、掘立柱塀、足場穴、土坑、瓦敷、掘立柱建物	軒瓦、丸・平瓦、土師器、須恵器、凝灰岩切石、木端、木屑	大極殿北方において、大極殿後殿 SB11650 および大極殿後方西回廊 SC11640 の規模と接続関係をあきらかにした。さらに、宮造営期の遺構について、東西掘立柱塀 SA2060 の規模を確定したほか、SB11650 に先行する南北掘立柱塀 SA11670 を新たに検出した。（第 210 次）
			近現代の堆積層	軒丸瓦、丸・平瓦、土器（弥生時代）、土師器・須恵器（古墳時代～古代）、施釉陶磁器（近現代）	顕著な遺構は確認できなかったが、調査区周辺は近現代に約 90㎝の埋め立てをおこなっていることが判明した。（第 211-6 次）
石神遺跡 東方	官衙遺跡 区画施設	飛鳥時代 （七世紀後半）	掘立柱塀、素掘溝、竪穴建物（古墳時代）、掘立柱建物、土坑、炭溜	軒丸瓦、丸・平瓦、土器（弥生）、土師器・須恵器（古墳時代～古代）、鉄鏃、刀子、鉄釘、鞴羽口、鉄滓、滑石製臼玉、両面調整石器	石神遺跡第１・３次調査区から東へ延びる飛鳥浄御原宮期の東西塀と東西溝、古墳時代の竪穴建物４棟などを検出。整地土や土坑、東西溝から鞴羽口や鉄滓など冶金関連遺物が出土した。（第 209 次）
			素掘溝、石組遺構、竪穴建物（古墳時代）、掘立柱建物、土坑	軒丸瓦、軒平瓦、丸・平瓦、土器（縄文～弥生時代）、土師器・須恵器（古墳時代～古代）、打製石器、石包丁、鉄釘、鉄滓	７世紀代の南北溝２条と石組遺構１基を検出したほか、古墳時代の竪穴建物１棟、弥生時代の土坑などを検出した。（第 212 次）
奥山廃寺 （奥山久米寺跡）	寺院跡	飛鳥時代 （七世紀後半）	素掘溝、東西溝、土坑、柱穴	瓦塼類、土師器・須恵器、石鏃	飛鳥時代創建の古代寺院。主要伽藍の南東、塔跡から約 50 ｍの地点を調査した。時期は不詳ながら、調査区東半において、素掘溝１条、土坑１基、柱穴１基を検出した。

特別史跡 平城宮跡	宮殿遺跡	室町～ 江戸時代	東西溝、溜池	軒瓦、丸・平瓦、土器・陶磁器（中近世～近現代）	現代の溜池による削平が著しく奈良時代の遺構は確認できなかったが、中近世の東西溝１条を検出した。
平城宮跡	宮殿遺跡	奈良～ 平安時代	東西溝、土坑	軒瓦、丸・平瓦、伏間瓦、土師器・須恵器（古代）、瓦器	奈良時代に、南に向かって下がる旧地形を埋め立て、東西溝を掘削している状況を明らかにした。 （第 646 次）
		江戸時代	流路、木杭列	丸・平瓦、土器・陶磁器（近世）、漆塗椀、板、組み合わせ部材、砥石、獣骨	顕著な遺構は確認できなかったが、近世以降の流路を検出した。近世以降に調査区周辺で水田を拡大した状況が判明した。（第 652 次）
名勝 法華寺庭園・ 史跡法華寺 旧境内 （法華寺境内）	寺院跡 庭園	奈良～ 江戸時代	石組護岸、盛土、凝灰岩切石	軒瓦、丸・平瓦、刻印瓦、土師器・須恵器（古代）、土器・陶磁器（近世～近現代）、鉄滓、石材	庭園の保存整備事業にともなう池護岸の調査として 21 カ所で調査を実施した。大半は石組護岸裏込土内の掘削に留まるが、古代の遺構に由来する可能性のある凝灰岩切石を検出した。（第 644 次）
		奈良～ 江戸時代	落ち込み、柱穴、土坑	軒瓦、丸・平瓦、磚、凝灰岩、土師器・須恵器（古代）、土器・陶磁器（近世～近現代）、木炭、種実、鉄釘、石材	北区では時期不明の落ち込みを検出したほか、顕著な遺構は確認できなかった。南区では古代の柱穴と土坑および中近世の土坑を検出した。（第 645 次）
		奈良～ 江戸時代	造成土	軒瓦、丸・平瓦、鬼瓦、土器・陶磁器（近世）、坩堝、鞴羽口、鉄釘	顕著な遺構は確認できなかったが、近世以降の遺物包含層を確認し、近現代の造成により現地形が形成されていることが判明した。 （第 651 次）
平城京跡 左京一条 二坊十坪・ 一条条間路	都城跡	奈良時代	一条条間路北側溝、杭列、落ち込み	軒瓦、丸・平瓦、埴輪、陶棺、土師器・須恵器・施釉陶器（古代）、土器・陶磁器（近世～近現代）、木材、植物遺存体	一条条間路北側溝を検出し、一条条間路施工前に埋め立てられた大規模な落ち込みを確認した。
西大寺跡	寺院跡	室町時代	南北溝	丸・平瓦、土器・陶磁器（中世）、漆椀、砥石	室町時代の南北溝１条を検出した。小塔院の東辺区画施設の西雨落溝を踏襲した溝の可能性が考えられる。（第 624 次）
		室町～ 江戸時代	南北溝	軒瓦、丸・平瓦、凝灰岩、土器・陶磁器（中世～近世）	室町～江戸時代の南北溝１条を検出した。南北溝からは古代・中世の瓦や凝灰岩切石が出土した。 （第 627 次）
		奈良～ 室町時代	土坑、柱穴、井戸、柱穴列、落ち込み	軒瓦、丸・平瓦、磚、土師器・須恵器（奈良時代）、土器・陶磁器（中近世）、柱根、礎板、桶、自然木、角棒、サヌカイト剥片	古代の柱穴・土坑および室町時代の井戸ほか、中世から近世にかけての土坑や落ち込みを検出した。（第 654 次）
		奈良時代	弥勒金堂基壇、礎石抜き取り穴、壺地業、斜行溝	軒瓦、丸・平瓦、緑釉磚、凝灰岩、埴輪、土師器・須恵器（奈良時代）、瓦器（中世）、土器・陶磁器（近世）、木器、石器、冶金関連遺物、木屑、木炭、種子	西大寺弥勒金堂の基壇を初めて確認した。基壇上面で礎石抜取穴６基を検出し、基壇下層で基壇構築前に施された壺地業を確認した。（第 655 次）

2023年12月22日　発行

奈良文化財研究所発掘調査報告
2023

著作権所有
発　行　者　独立行政法人国立文化財機構
奈 良 文 化 財 研 究 所
奈良市二条町２丁目９番１号

印　刷　者　株式会社 明新社
奈良市南京終町３丁目464

ISSN　2759-0704

Excavation survey report of Nara National Research Institute for Cultural Properties

2023

Independent Administrative Institution
National Institutes for Cultural Heritage
Nara National Research Institute for Cultural Properties
2-9-1, Nijo-cho, Nara-shi, 630-8577, JAPAN

https://www.nabunken.go.jp/